

形成外科	
診療科目：一般形成外科、再建外科、頭蓋顎顔面外科、手外科	
診療科担当研修責任者名： 松田 健（形成外科診療科長）	
診療科連絡先担当者名： 曾束 洋平（形成外科総括医長） 若槻 華子（形成外科エデュケーションマネージャー）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：2人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
形成外科専門医6人、日本創傷外科学会専門医1人、日本頭蓋顎顔面外科学会専門医3人、日本熱傷学会専門医2人、がん治療認定医2人、手外科専門医1人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
形成外科指導医4人、手外科指導医1人、日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医3人、日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医2人、日本形成外科学会小児形成外科分野指導医2人、レーザー分野指導医2人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
形成外科はあらゆる手技（植皮術・皮弁移植術、マイクロサージャリー、口唇・口蓋裂の形成術など）を駆使し、先天的後天的な身体の醜状変形に対し、機能・形態を正常にすることで患者の社会適応を目指す外科学です。最良の形態・機能を再建することは患者のQOLを大幅に改善し、時に人生を変えるほどの影響をもたらします。形成外科単独の診療はもちろん、耳鼻咽喉科、外科、整形外科、救命救急科、脳神経外科、眼科、口腔外科、泌尿器科、皮膚科など、多くの診療科と共同診療・再建手術を行うことで新潟大学医歯学総合病院としてのより高いレベルの治療提供に貢献しています。また、先進医療にも積極的に取り組み、常に世界の最先端を視野に入れた知識と技術習得への挑戦を怠らず精力的に診療に取り組んでいます。	比較的小さい局麻手術から大がかりな再建手術、先天異常や難治性潰瘍、外傷など、当院では形成外科の診療領域のほぼすべてをまんべんなく経験することができます。多様な症例を通して様々な「きず」をどのように診て、扱い、きれいに修復するのかを学んでもらいたいと考えています。当科では基本的には研修医も主治医チームの一員として診療に当たる体制としており、手術目的、その具体的内容、術直後の指示、退院までの治療計画等につき直接学ぶことが可能です。担当症例の手術には助手として参加し、上級主治医から局所解剖や手術の要点についての詳しい解説を受け、これらを通して形成外科の基本である皮膚縫合、皮膚移植術などの指導も同時に受けます。また、当科では顕微鏡下でのマイクロサージャリーの体験、訓練を行うことのできる設備も整っており、上級医から血管の吻合法・神経の縫合法の技術指導を受けることが可能です。外来においては、予診のとり方、写真撮影法などを習得し、上級医師の診察について、所見のとり方、治療計画のたて方の指導を受け、担当症例の短期成績あるいは、類似症例の長期結果を学ぶことになります。